

【議第3号】

青山と翔青の同窓会組織の統合ならびに名称について

1. 報告事項（統合について）

青高同窓会の方針に基づき、翔青高校ならびにPTA役員による協議の結果、青山と翔青の同窓会組織を統合することとする。

2. 協議事項（名称について）

名称については、「青藍会（せいらんかい）」としたい。

（理由）

- ① 青高時代を引き継ぎ、翔青でも体育祭や文化祭の名称として親しまれていること。
- ② 双方に共通の「青」の文字が入っていること。
- ③ 翔青第1期卒業生へのアンケートや同窓会HPでのアンケートでも支持する声が最も多かったこと。

（参考：その他候補）

一青会、創青会、青躍会、青嵐会、青凜会など（HPに掲載）

<参考資料：これまでの総会での決定事項> *総会資料より

【28年度】

1. 方針

- ① 将来発足する翔青高校同窓会と統合する前提で、翔青高校側とも話し合いを進め、今後は会計、行事等全てにおいて統合前提での運営を図る。
- ② 上記①は別商、羽室台の動向に左右されることなく、青山高校の方針として進める。

2. 統合する理由

- ① 青山高校は廃校になるのではなく、三校が統合して新しく翔青高校として生まれ変わるということである。青山高校のDNAは翔青高校に当然ながら引き継がれていくもので、翔青高校の生徒や先生方も実際にそのように考えている。寸断の道をわれわれ卒業生が選択するべきではない。
- ② 新たな同窓生が入ってこない、同窓会は活性化せず先細りしていく。いずれは消えてなくなる道を選択するべきではない。
- ③ 単独運営の場合、同窓生から継続してかつ平等に会費を徴収するのは現実的には難しいと考えられ、運営自体が成り立たなくなる可能性が大きい。

【29年度】

1. 方針

- ①翔青高校側で、同窓会の方向性について議論が始まる時期（秋～冬）に、あらためて上記の青高の方針を伝えることにしたい（青高側で一方向的に決められる問題ではなく、両者の合意が必要）。
- ②青高同窓会を一旦解散するのではなく、あくまでも継続が基本である。
- ③翔青との協議をスムーズにまとめるため、同窓会の名称は変更することもありうるが、新名称に「青」の文字は入れるようにする。
- ④役員には翔青のメンバーも加えることにしたい。

2. 決議事項

上記方針に賛同いただいたうえで、それに沿って翔青側と合意した場合には、臨時総会を開催することなく役員判断で可とすることを承認いただきたい。本件の結果については来年度の定期総会において報告する。